

くまもと経済EX

ビジネスに! 就活に!

COMPANIES

カンパニーズ 2025

Special Interview

世界とつながる 新しいKUMAMOTOへ

—— 業界トップが語るくまもと新時代への提言



元気な熊本を創る未来創造企業

ビジネスに役立つ情報・データ満載!

学生の可能性を引き出し、 時代に対応できる才能を育む

崇城大学

学びたいテーマがきつとある



世界的半導体メーカーをはじめ、航空業界、さらにはクリエイターなど多様な分野で活躍する学生を輩出する崇城大学(熊本市西区池田4丁目、中山峰男理事長)。背景には国内唯一の空港キャンパスをはじめとする優れた教育環境と、学生の可能性を引き出し、時代の変化にも対応できる才能を育む、実学主義に基づいた教育体制があった。



美術雑誌に掲載された本学美術学科の学生の作品



空港キャンパスでは実際の航空機を使った臨場感あふれる訓練が行われる



昨年開催されたつまようじタワー耐震コンテストの様子

圧倒的な求人数と高い就職率

崇城大学の2025年3月卒業生の就職状況は、就職率97.2%と、高い就職率を誇る。求人数は学生1人あたり60社を超える結果となった。中でも半導体受託生産で世界最大手の台湾企業「TSMC」の熊本進出により、関連企業を含めた半導体業界への就職者が急増し、同大学の半導体業界への就職者数は68人に上った(2024年度実績)。今後も求人数は増える見込みだという。

芸術学部OBの作品が 週刊少年ジャンプで連載開始

同大学出身の川口さん(芸術学部美術学科2018年3月卒業、熊本県/文徳高校出身)が手掛けた漫画作品「灯火のオテル」が、漫画雑誌「週刊少年ジャンプ」(集英社)の24号(5月12日発売)で巻頭・表紙を飾り、連載が開始された。川口さんは2017年に「第1回JUMP新世界漫画賞」において準入選・超新星賞を受賞するなど、若手漫画家のホープとして今後が期待されている一人だ。中山理事長は「漫画などのクリエイター業界は、芸術学部の学生が活躍できるフィールドの一つですね。卒業生の活躍は、在学生に大きな刺激を与えてくれます」とOBの活躍に目を細める。

一方、同学部の卒業展・修了展をはじめ、多くの在学生や卒業生、教員の作品が美術専門誌「美術の窓」に毎年掲載されるなど、芸術学部に置く九州の大学の中でも、その評価は年々高まりを見せている。

国内唯一の教育環境が 実践的な学びを支える

阿蘇くまもと空港に直結したキャンパスを持ち、全国でも屈指の教育環境を誇る宇宙航空システム工学科では、国内の定期便を持たない航空関係の事業所の中で、最も多い15機の航空機を保有している。エアラインパイロットを養成する同学科の航空操縦学専攻では、元日本航空のパイロットが操縦訓練にあたり、航空整備士を養成する航空整備学専攻では、大学で唯一の国土交通大臣指定航空従事者養成施設の認可を受けた充実した教育環境を誇る。卒業生の多くは、JALやANAといった国内エアラインへの就職を果たしている。

実学主義の体験型教育で、学生の 主体性・社会性・専門性を引き出す

同大学では「何を学んだか」ではなく、「何ができるようになったか」を問う「実学主義」に基づく教育を重視しており、学生が専門分野に興味を持つきっかけとなるよう設けられた「体験型教育」を実施している。機械工学科では、学生がグループでロボットを製作し、走行性能を競い合うことでのづくりの面白さや専門知識への興味を引き出し、情報学科では、学生が設計した人工知能(AI)プログラムで競う「AIオセロゲーム大会」を通じて、AIやプログラミングの導入教育を実践している。さらに半導体への理解と技術を学ぶための半導体回路設計コンテストを実施。建築学科では、熊本県内外の多くの高校生も参加する「つ

まようじタワー耐震コンテスト」を開催。各学科において学生の興味や関心を高める取り組みを実施している。

さらに学生の成長を促すことを目的とした英語教育や海外研修、海外留学の支援も実施している。中山理事長は「海外での経験は、学生が自分の殻を破るきっかけとなり、その後の大学生活でのアクティビティや挑戦意欲に大きな変化をもたらします」と語った。



profile

中山 峰男 理事長

なかやま・みねお/1947年9月22日生まれ、77歳。済々黴高校一熊本大学工学部卒。趣味はゴルフ。71年積水化学工業入社。80年4月に傍君が「潮学園」に入り、89年法人課長、97年法人副長、03年学務が「潮学園」理事に就任。03年12月1日傍君が「潮学園」理事長、崇城大学学長、前文徳学園理事長就任。23年10月崇城大学学長退任、傍君が「潮学園」学長就任

DATA

所在地	〒860-0082 熊本市西区池田4丁目22-1
T E L	096-326-3111
設立	昭和24年4月電気・電波学校創立、昭和42年熊本工業大学設立、平成12年熊本工業大学から「崇城大学」に名称変更
学部構成	工学部4学科、芸術学部2学科、情報学部1学科、生物生命学部1学科、薬学部1学科、大学院工学研究科博士後期課程6専攻、修士課程7専攻、大学院芸術研究科博士後期課程1専攻、修士課程2専攻、大学院薬学研究科博士課程1専攻
学生数	約3,700名
関連機関	DDS (Drug Delivery System) 研究所、エネルギー・エレクトロニクス研究所、衝撃先端技術センター、空港キャンパス、SILC、SUMIC、IoT-AIセンター